

株式の状況（2024年8月31日現在）

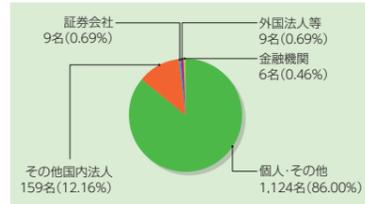
1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	934,999株
3) 株主数	1,307名

大株主（上位10名）

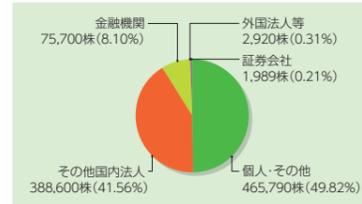
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 イズミ	185,200	19.81
佐竹 睦子	92,500	9.89
マルヨシセンター取引先持株会	83,300	8.91
有限会社 佐竹興産	49,900	5.34
株式会社 百十四銀行	35,400	3.79
株式会社 阿波銀行	33,400	3.57
佐竹 克彦	26,300	2.81
マルヨシセンター従業員持株会	17,439	1.87
ロージー 美佳	17,000	1.82
黒田 真由美	11,400	1.22

(注) 持株比率は自己株式（151株）を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ（2024年8月31日現在）

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合） （その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
公告方法	電子公告（当社ホームページに掲載） http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所市場	東京証券取引所 スタンダード市場

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

環境方針

- 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- この方針は、社内外全般に公表します。

会社概要（2024年8月31日現在）

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市国分寺町国分367番地1
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット35店舗 レストラン1店舗
従業員数	397名 （ほか、パートタイマー1,084名〔8時間換算〕）

取締役・監査役（2024年10月16日現在）

代表取締役会長	CEO	佐竹 克彦
代表取締役社長	COO兼CFO	加藤 宏道
常務取締役	CMO兼CIO	伊藤 雅
取締役		田村 勉
取締役		大下 秀樹
常任監査役		大西 敏弘
監査役		川東 祥次
監査役		三宅 康夫

(注) 大下秀樹は社外取締役、川東祥次および三宅康夫は社外監査役であります。

会計監査人（2024年8月31日現在）

太陽有限責任監査法人

マルヨシセンターに関する情報は、ホームページをご覧ください。
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>

MARUYOSHI SUPER REPORT

第65期 中間報告書

2024年3月1日 ▶ 2024年8月31日

MARUYOSHI CENTER

株主の皆さまへ

地域の皆さまの食生活をより豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型スーパーマーケットを目指します。

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまり、誠に有難く厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループ第65期中間連結会計期間（2024年3月1日から2024年8月31日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要の増加や社会活動の正常化に伴う人流の回復など景気回復の兆しが見える一方で、資源・エネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ戦争並びにイスラエルにおける武力衝突の長期化、中国経済の停滞など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、雇用・所得環境改善の兆しはあるものの、急速な円安の進行やコストアップに伴う物価の高騰等により実質賃金は低迷し、厳しい状況で推移いたしました。小売業界におきましても、物価上昇による将来への不安による購買意欲の低下、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費や運賃等の経費の増加など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループでは引き続き「健康とおいしさ」を軸とした「マルヨシクオリティー」の追求を方針とし、第一に接客サービスの向上を目指し、マニュアルにとられない「お客様中心」のサービス構築を図っております。また、商品についても「健康とおいしさ」をキーワードに、より高い品質を追求し、生鮮（精肉、デリカ他）を強化カテゴリーと位置づけ、さらなる差別化を進めることで、生鮮の魅力度向上を図っております。あわせて「味Gメン」による味と品質チェックも継続し、より高い「マルヨシクオリティー」の実現を目指しております。また、お客様が「必要な時に」「必要なものが」「必要な数量」揃った売場を目指して、品切れさせない時間帯別の売場管理を徹底しており、サービス・品質・売場の総合的にお客様に満足いただけるお店作りを行っております。

一方で、製造工場の生産性向上も重要課題ととらえ、製造商品の選択と集中による製造効率の向上や新しい製造機器への投資による生産性の向上に取り組んでまいります。

また、株式会社イズミのランサムウェア感染被害の影響やシステム統合に伴う当社システム整備のための費用が発生したものの、段階的に進めてきた株式会社イズミとの仕入、物流、システムの統合が本年6月から本格稼働しており、今後は、仕入れ原価の低減や物流の効率化を更に進め、利益拡大を図ってまいります。

このような取り組みの結果、当中間連結会計期間の売上高は195億45百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は36百万円（前年同期比78.8%減）、経常利益は33百万円（前年同期比79.1%減）、親会社株主に帰属する中間純損失は11百万円（前年同期は64百万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。



代表取締役会長 CEO
佐竹 克彦



代表取締役社長 COO兼CFO
加藤 宏道

特集①

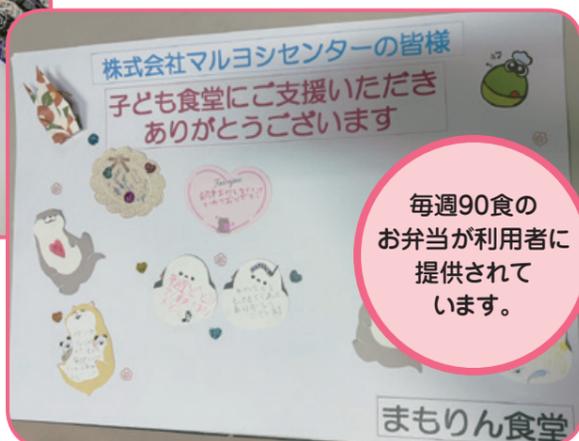
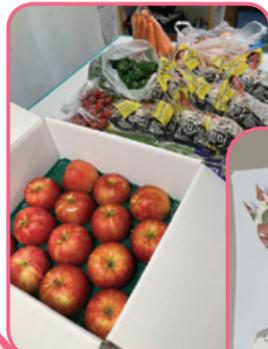
子供食堂への 食材提供を始めました

地元の子供食堂「まもりん食堂」へ、
毎週金曜日にお弁当用食材を提供しています。

毎週金曜日にお弁当用食材や菓子パン、飲料などを提供しています。



提供した食材は「まもりん食堂」で調理され、お弁当として提供されます。



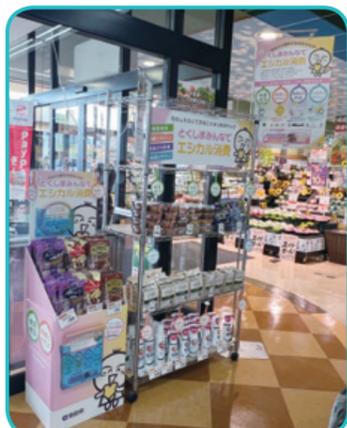
毎週90食のお弁当が利用者に提供されています。

特集②

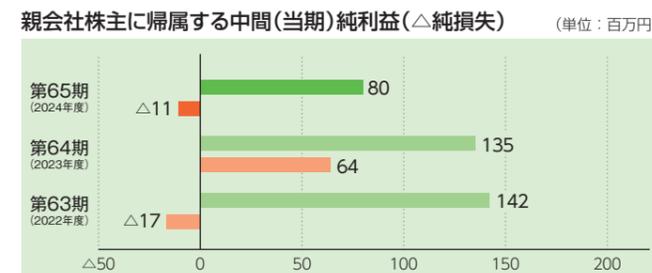
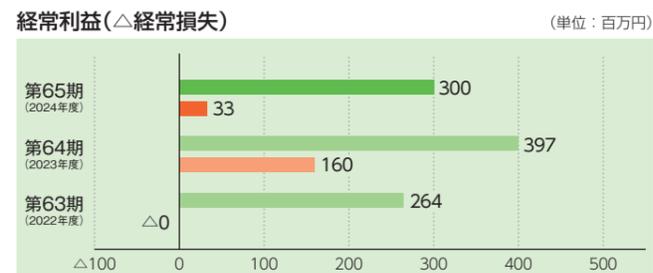
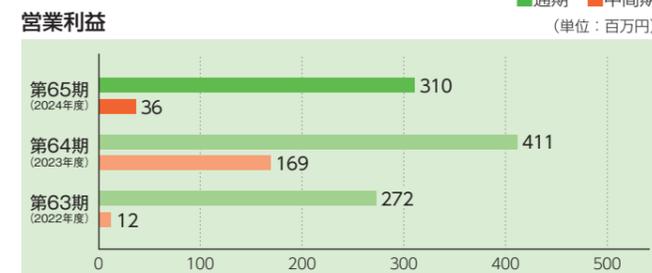
徳島県とのコラボイベント 「エシカル消費売場」を展開

7月20日～8月30日の期間中に徳島県とのコラボ企画として、「エシカル消費売場」を徳島県内6店舗で実施しました。地産地消や環境・人・社会に配慮した商品の紹介、食品ロス削減の提案などの売場を展開しました。

1. 環境に配慮した無添加洗剤やせっけんの売場
2. CO₂を削減する配送方法、梱包の商品の提案
3. 地元商品を集めた地産地消の売場



財務ハイライト（連結）



(注) 第65期通期については、予想数値であります。

連結財務諸表（要約）

○ 中間連結貸借対照表 (単位: 千円)

科目	当中間連結会計期末 (2024年8月31日現在)	前期末 (2024年2月29日現在)
資産の部		
流動資産	4,022,758	3,050,355
固定資産	13,108,683	13,142,248
有形固定資産	10,786,581	10,947,375
無形固定資産	684,212	529,130
投資その他の資産	1,637,889	1,665,743
繰延資産	2,156	2,890
資産合計	17,133,598	16,195,493
負債の部		
流動負債	7,783,343	6,415,123
固定負債	6,133,335	6,524,478
負債合計	13,916,678	12,939,601
純資産の部		
株主資本	2,984,769	3,024,086
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	517,745	517,745
利益剰余金	1,389,486	1,428,803
自己株式	△ 461	△ 461
その他の包括利益累計額	9,398	23,171
その他有価証券評価差額金	626	12,894
退職給付に係る調整累計額	8,771	10,276
非支配株主持分	222,752	208,634
純資産合計	3,216,919	3,255,891
負債及び純資産合計	17,133,598	16,195,493

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

○ 中間連結損益計算書 (単位: 千円)

科目	当中間連結会計期間 (2024年3月1日から 2024年8月31日まで)	前中間連結会計期間 (2023年3月1日から 2023年8月31日まで)
売上高	19,545,525	19,136,648
売上原価	14,937,859	14,680,458
売上総利益	4,607,665	4,456,189
その他営業収入	886,624	679,678
営業総利益	5,494,290	5,135,867
販売費及び一般管理費	5,458,250	4,966,124
営業利益	36,040	169,742
営業外収益	23,693	19,769
営業外費用	26,148	28,753
経常利益	33,585	160,758
特別利益	9,747	—
特別損失	12,877	20,536
税金等調整前中間純利益	30,456	140,221
法人税、住民税及び事業税	36,689	55,465
法人税等調整額	△ 9,104	10,316
中間純利益	2,870	74,440
非支配株主に帰属する中間純利益	14,141	9,557
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△ 11,270	64,882

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。